

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府四條畷市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	四條畷市文化遺産総合活用推進事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>本市の四條畷市社会教育基本方針（平成21年5月策定）では、基本的な取組「文化・芸術の振興」で「文化・芸術は、人びとの心に潤いを与え、人間らしく暮らしていくうえでなくてはならないものです。市民一人ひとりが郷土の歴史や文化を知ることにより、自分が暮らし、自分を育ててくれたまちへの愛着や誇りを持ち、郷土の歴史や文化を大切にすることが醸成されます。豊かな歴史や文化、産業、自然、市民の活動などまち全体を見つめ直し、それらを活かすことにより、個性豊かな魅力あるまちの形成を目指します。」と謳っている。またそれらを達成する一環として、「歴史と文化を活かしたまちづくりのために先人から引き継いだ貴重な文化財の保護や活用を実施するとともに、古くから受け継がれてきた伝統文化を次世代に引き継いでいく取組を支援する。」としている。</p> <p>これらのことを踏まえて、地域の文化遺産継承事業と地域の文化遺産記録作成事業及び地域の文化遺産普及啓発事業として、平成26年3月に市内に存する伝統文化を継承している7地区が新たに『四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会』を立ち上げ、その保存・継承・記録保存・公開・普及啓発の事業を実施し、平成28年度はこの団体を中心に「四條畷市だんじり蒲団太鼓パレード」を開催した。平成29年度は、この事業を継承していくために東中野地区のだんじりの修理とその作業過程を記録・公開することにより地域の伝統文化の継承を推進する。</p>			
6 実施体制			
<p>四條畷市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>教育委員会地域教育課：補助事業における文化財の取扱等に関する指導調整等 市民生活部産業観光課：普及啓発事業への支援等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。 四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会（会長：木村勲夫）。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 2,028 千円	平成29年度申請額： 5,622 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、地域の文化遺産の保存と次世代への継承とともに地域の活性化が期待できる。また、市内の地車保存団体が協同でイベントを開催することにより、更に『四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会』に参加する地区が増加することが期待され、将来的に市全体の地車保存団体が結集して伝統文化を継承する事業を開催することができる。また市内外からの来訪者の増加ににともない「四條畷市総合戦略」で市主催観光イベントの目標としている（平成31年度3,000人）にも寄与することが期待できるとともに、これまで交流の少なかった市内外の祭礼保存団体との連携が期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現在のところ、財政・人員の面からこれらの策定の予定はない。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	四條畷市教育委員会 教育部 地域教育課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標 1 :	東中野地区の秋の禮大祭への参加者数			関連事業:	①	
目標値 1 :	平成 28 年度		130 人	⇒	平成 30 年度 150 人	
設定根拠 1 :	平成28年度までの参加者数が130人前後であったことから20人前後の増加を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標 2 :	四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会の構成団体の増加			関連事業:	②	
目標値 2 :	平成 28 年度		7 団体	⇒	平成 30 年度 10 団体	
設定根拠 2 :	市内各地区で実施している祭礼行事を広域で実施することにより継承体制を維持・確立していくため、連合会への参加団体を平成30年度までに10団体と設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
団体	団体	団体	団体	団体	団体	

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	東中野山車復元修復事業	実施団体：	四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 30 年度	
事業概要：	東中野地区の秋の禮大祭に使用する山車が経年劣化により安全な曳行に支障があるため復元修理を行うと伴に修理現場の公開を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	平成28年度までの東中野地区の秋の禮大祭への参加者数が130人前後であった参加者数					
目標値：	平成 28 年度	130 人	⇒	平成 30 年度	150 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成
	人		人		人	
<small>四條畷市が、本実施計画に係る</small>	東中野山車修復記録作成事業	実施団体：	四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 30 年度	
事業概要：	明治23年製作の堺型の山車の復元修復作業を映像記録し、市内の小中学校や図書館をはじめ、府下の図書館に配布して広く見ていただくことにより、伝統文化の継承意識の向上や本市の禮大祭のPRを行うことにより地域活性化を図る。					
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し(又は利用)回数等			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	市内の小中学校や図書館をはじめ府下150件の図書館へ配布する東中野山車の修理工程記録映像を見ていただくことにより、伝統文化の継承意識の向上と市内外への広報活動を行う。平成30年度までに各館年12回の閲覧・貸出回数を目標とする。					
目標値：	平成 28 年度	一 回	⇒	平成 30 年度	1,800 回	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成
	回		回		回	